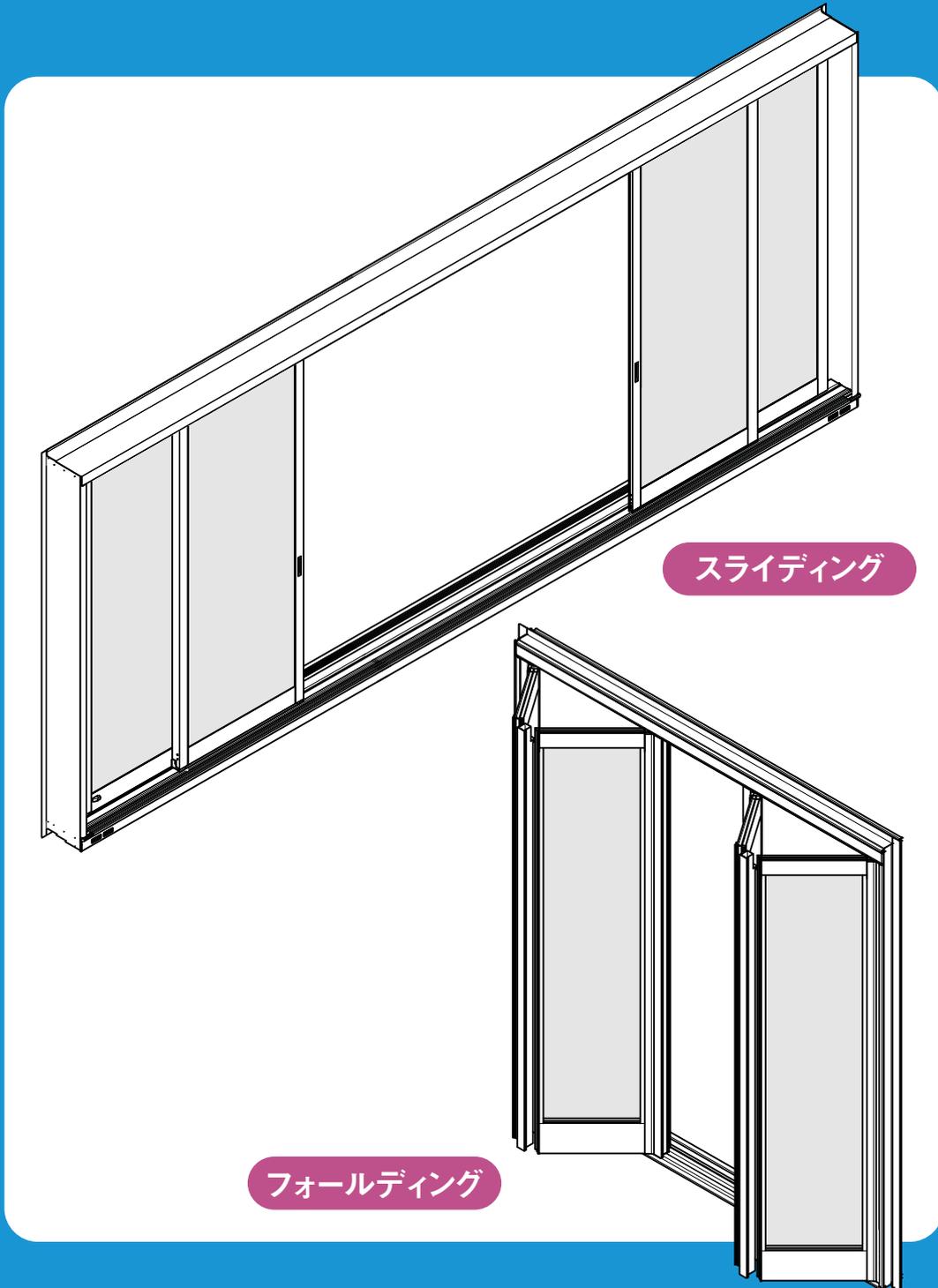


全開口サッシ オープンウィン

ワンポイントマニュアル

スライディング/フォールディング



このマニュアルは、オープンウィンを正しく組立て・お取付けいただくための最も重要なポイントを分かりやすく記載しています。

まずこちらのマニュアルをよくお読みいただき、内容を正しくご理解した上でオープンウィンをご採用くださるようお願いいたします。

また、組立て・お取付けに際しましては、必ず商品に同梱されています組立て・取付け説明書にて詳細を確認の上実施願います。

誤った施工を行いますと、「後日手直し」「商品の交換」等大きなトラブルに発展します。また、お施主様に思わぬ災害を負わせることも考えられますので、十分ご注意ください。

本書の使い方

発注前

採用にあたり、カタログと共に本書にて販売店様・工務店様へ注意事項を必ずご説明願います。



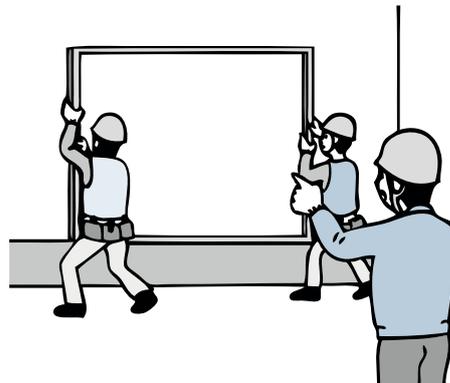
躯体製作時

カタログ、本書及び商品に同梱の取付け説明書にて内容を確認して躯体の製作をお願いします。



組立て・取付け・調整時

実際に作業される方が、本書及び商品に同梱の説明書にて詳細を確認して作業をお願いします。



目次

.....

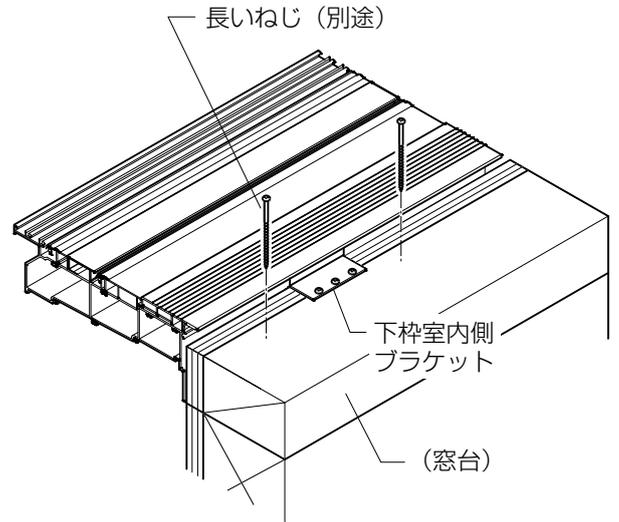
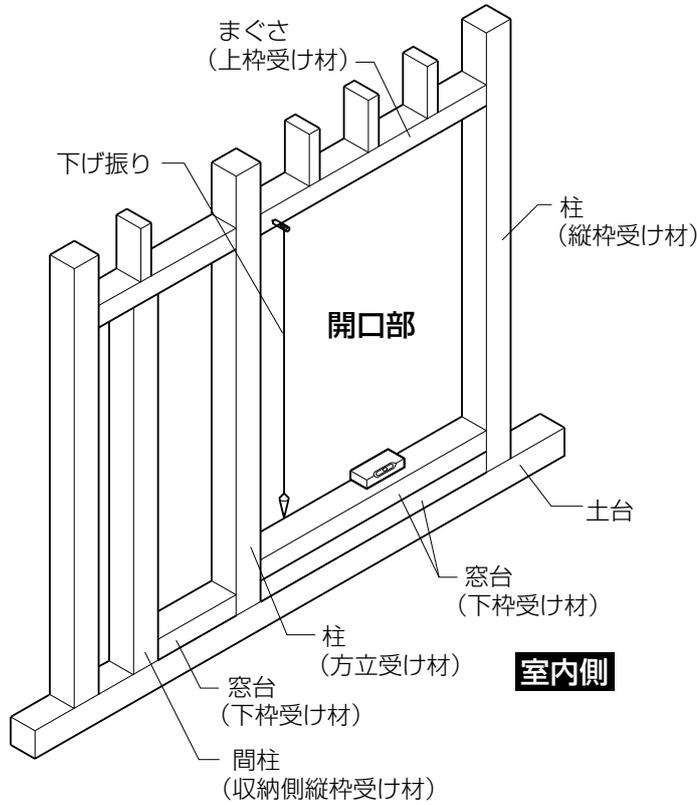
■オープンウィンの紹介	1
■スライディングに関するご注意	2~4
■フォールディングに関するご注意	5・6

オープンウィン スライディング

■ 躯体製作に関するご注意 < 収納部の柱割付、躯体下部の補強 >

- ・ 障子収納スペースとして開口部の横に壁が必要になります。
収納側縦枠受け材の配置位置をカタログ納まり図を参考に事前に施工してください。

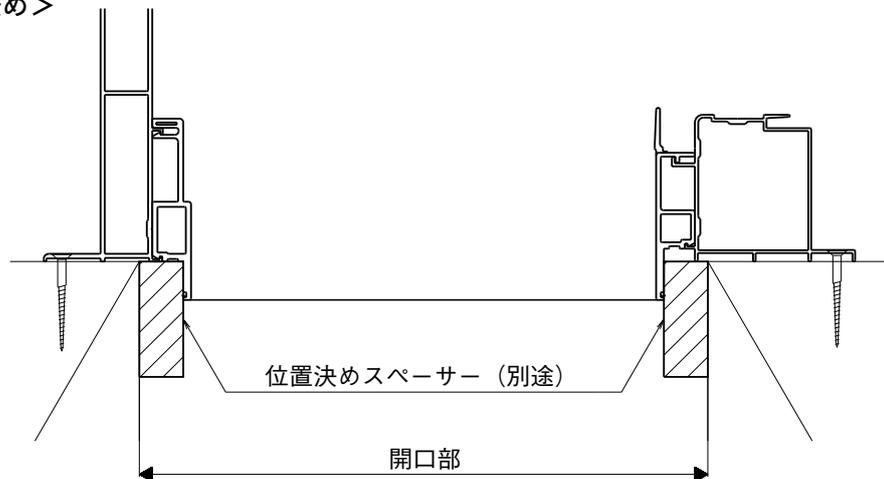
- ・ スライディングは枠出巾が大きく下部の躯体に荷重がかかります。サッシ下枠の取付受け材(窓台)は、転び浮き上がりが生じないように室内ブラケットの両脇を土台に30mm以上かかる長いねじ(別途)で固定してください。



■ 枠取付けに関するご注意 < 位置合わせ >

- ・ 枠の納まりは外付タイプで、四方アングルのみ躯体に納まる仕様です。
枠を取付ける際には、左右の位置決めとして予め使用される額縁の小片を当てるなど、後で額縁が取付けできるスペースが確保されるように位置決めして枠を固定してください。

< 枠取付左右位置決め >



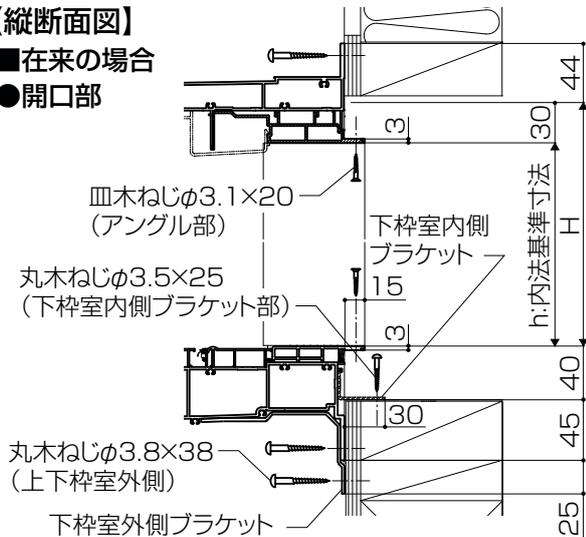
オープンウィン スライディング

■ 枠取付けに関するご注意<ブラケット取付け>

- ・ 下枠にかかる荷重は下枠内・外のブラケットで支える構造です。必ずブラケットをねじ止めしてください。

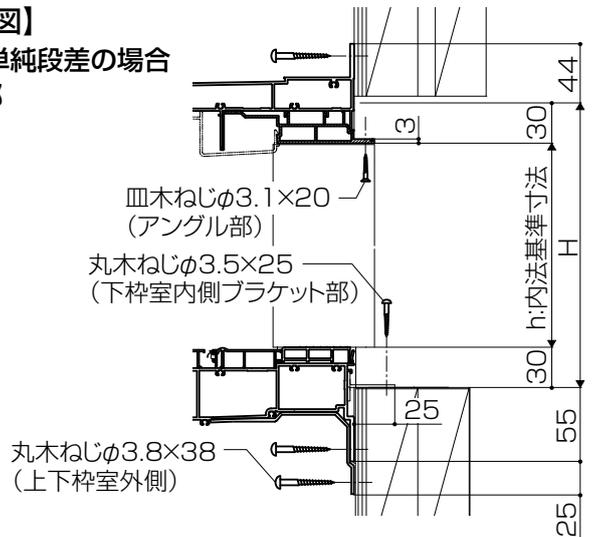
【縦断面図】

- 在来の場合
- 開口部

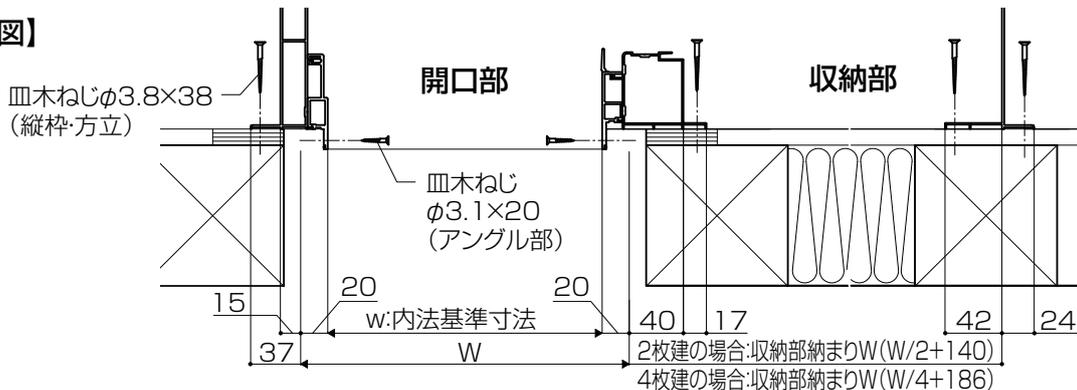


【縦断面図】

- 204単純段差の場合
- 開口部



【横断面図】



■ 防水処理に関するご注意<防水テープ・シーリング必要箇所>

収納部は外壁と同様に防水施工・外壁仕上げを行ってください。

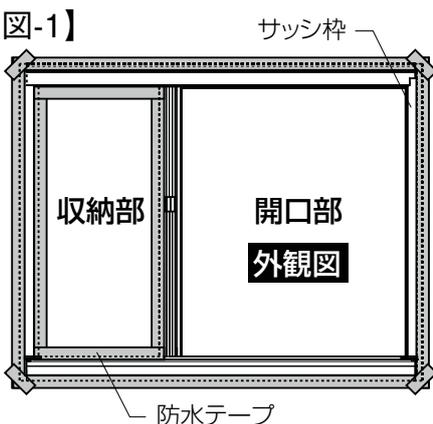
- ・ サッシ枠周りだけでなく、障子収納部も防水テープの貼り上げをしてください。【図-1参照】
- ・ 障子収納部はシーリングにて外壁を仕上げてください。外壁の厚さによっては収納部下辺のシーリングスペースがせまくなります。【図-2参照】

※ 枠の方立外側先端は障子の気密材が当たる位置ですので、シーリングの際にはマスキングテープ等を使用してシーリング材の付着を防止してください。【図-3参照】

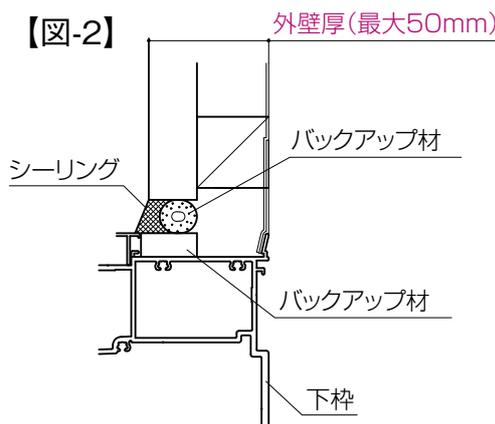
※ 収納部の外壁厚さは50mmまでとしてください。

※ サッシ寸法、収納部納まり寸法など詳しくはカタログ納まり参考図を参照ください。

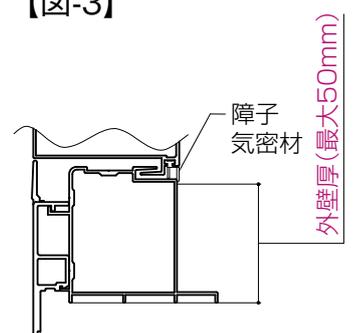
【図-1】



【図-2】



【図-3】



オープンウィン スライディング

■障子建込みにに関するご注意<外から建込みます>

障子の建込み、取外しは室外側からのみとなります。

※2階に使用される場合には、障子が外せるように必ず出入り及び人が通れるスペース(ベランダ、バルコニーなど)を設置してください。窓タイプとしてのご使用は避けてください。

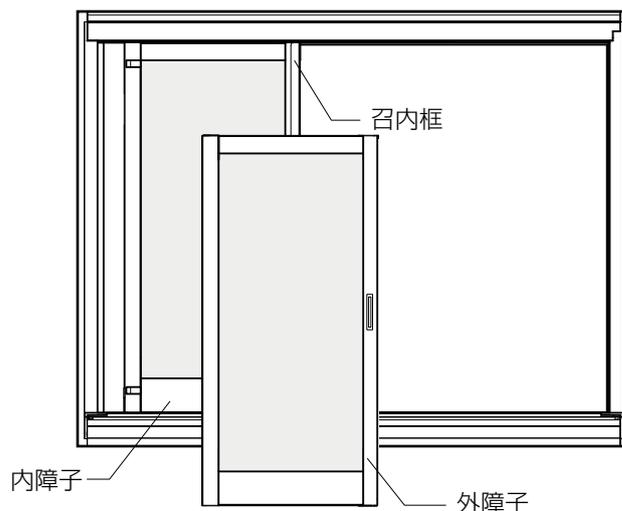
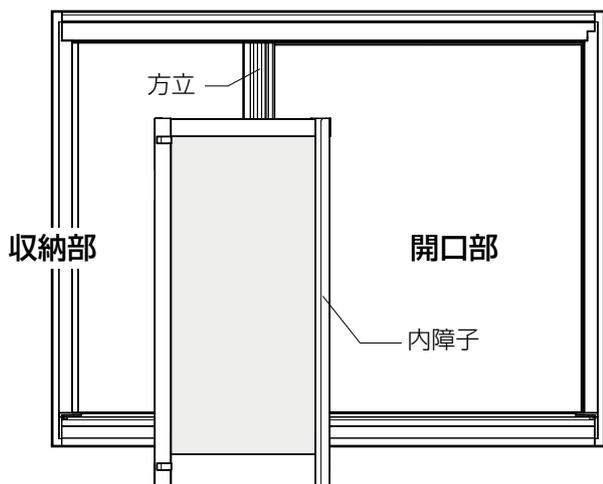
●障子を建込む場合は、煙返しがかみ合うように、まず内障子から枠(方立)をはさむ位置で建込み、次に外障子を召内框をはさむ位置で建込んでください。

※障子を外す際は上記と逆手順になります。

※網戸についても障子と同様の建込み手順となります。

①まず内障子を、方立を背にして建込んでください。

②次に外障子を、召内を背にして建込んでください。



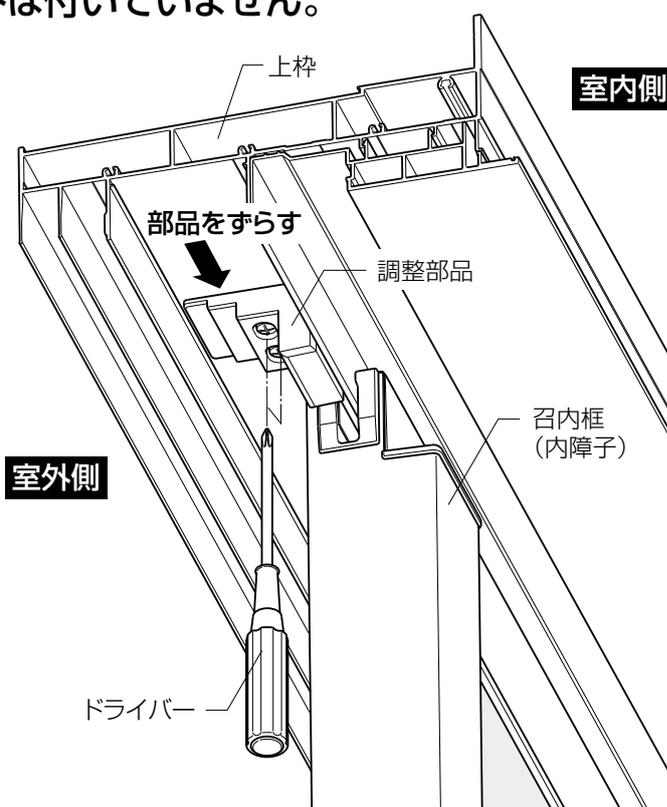
■建付け調整に関するご注意<障子ガタツキ調整>

従来の引違い障子に付いていたクレセントは付いていません。

※施錠機能として戸先錠が、片引きタイプの場合は戸先側、引分けタイプの場合は中央合掌部に付いています。

※障子の開閉方向へのガタツキを抑える機能として、戸先錠(障子)と室内上枠(召合部)にそれぞれ調整機能がついています。

※障子のガタツキ調整が必要な場合は、まずは戸先錠にて行ってください。戸先錠の調整量として2mmを設定していますが、それ以上に調整が必要な場合には、室内上枠召合部の横に付いている部品を動かして調整してください。



オープンウィン フォールディング

■躯体製作に関するご注意<躯体上部の補強>

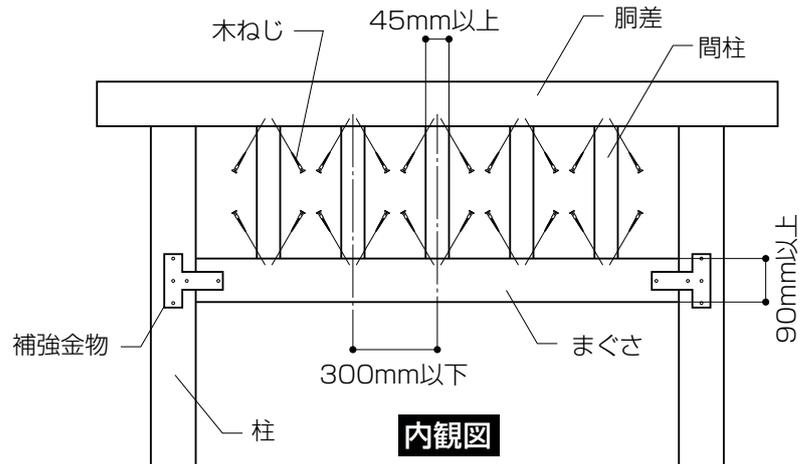
オープンウィン フォールディングは上吊のため、必ず躯体上部の補強、枠中央部H開口の確保をしてください。後日開閉ができなくなったり、異音が発生するおそれがあります。

■躯体上部の補強

●本製品は上吊なのでMax200kgの荷重がまぐさにかかります。

施工後、躯体下がりによる開閉不良を防止するため、必ず下記の補強を実施してください。

- ①まぐさ見付けは90mm以上。
- ②まぐさは補強金物などで固定する。
- ③間柱厚さは45mm以上。
- ④間柱ピッチは300mm以下。
- ⑤間柱は木ねじで固定する。

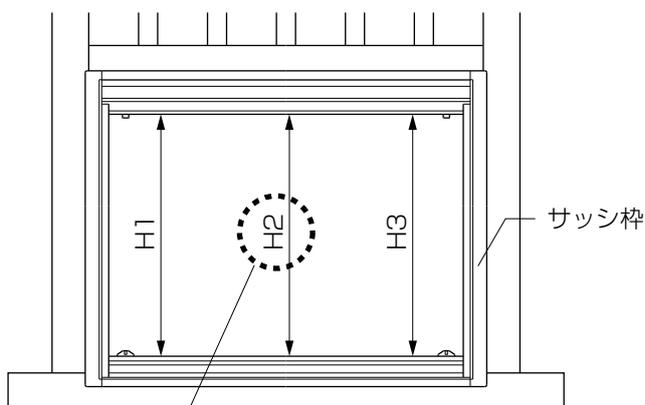


■枠取付けに関するご注意<枠中央部H開口の確保>

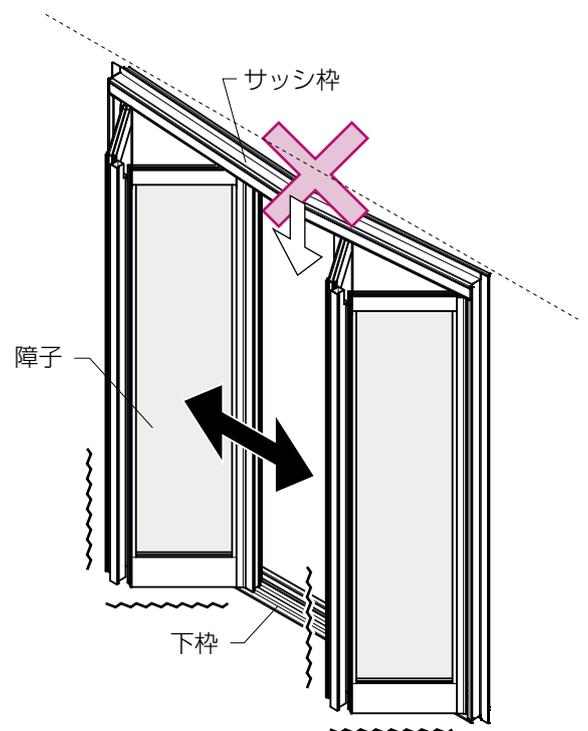
●本製品は上吊りのため躯体の下がりも考慮して枠の中央部の開口寸法(H2)が両端部の開口寸法(H1・H3)より小さくならないように、枠を躯体に取付けてください。

お願い

※中央部の開口寸法は、使用年数の経過による躯体の下がり considering, +方向を目安に取付けてください。



両端部に対して+4mm~-0mmになるよう、枠を持ち上げてください。



※枠垂下がりにより、障子と下枠がこすれ異音が発生する原因になります。

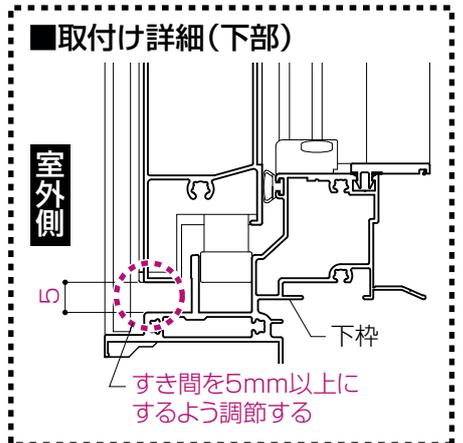
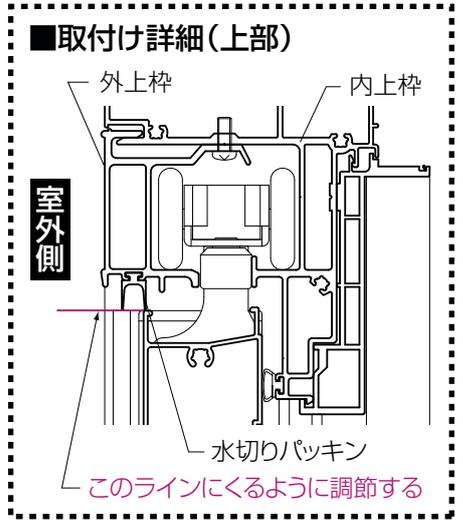
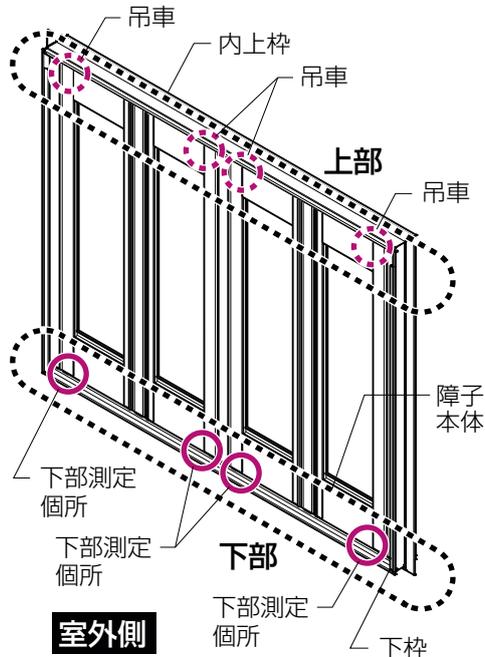
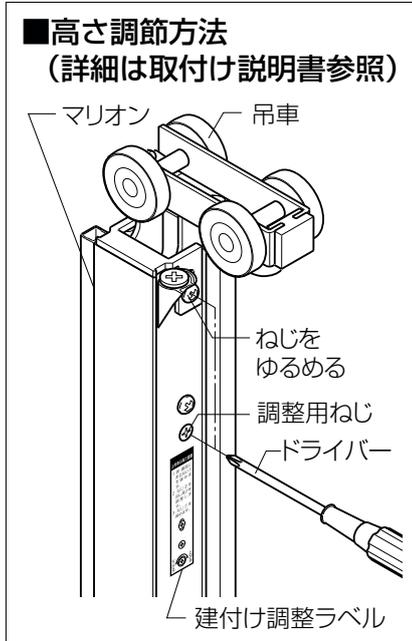
オープンウィン フォールディング

■建付け調整に関するご注意<障子高さ調整の実施>

オープンウィン フォールディングを正しくご使用いただくために、障子取付け後必ず下記を確認願います。

■障子の高さ調整

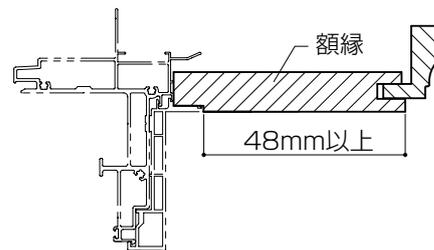
● 枠と障子の位置関係が図のようになるよう障子の高さ調整を行ってください。



お願い
※下部のすき間が5mm以下の場合、障子の高さを上げ、下部のすき間を確保してください。障子と下枠がこすれ異音が発生する原因になります。

■網戸取付けに関するご注意<網戸取付け部の確保>

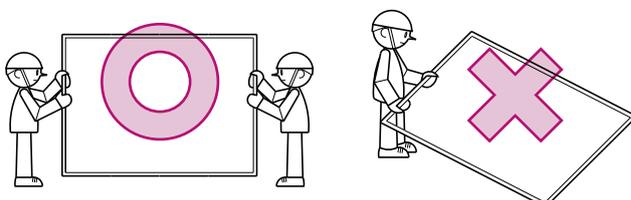
- ・ 取付け面および床に段差がなく、48mm以上の取付け幅があることを確認してください。
- 特にクロス納まりで下部に巾木等を回す場合は、事前に取付け面を確保願います。



■輸送・持ち運びの際のご注意<大切に扱ってください>

組立て後の製品は必ず2人以上の人数で取扱ってください。

- ・ トラック等で運ぶ際は、上部が振動等で暴れないよう、しっかり固定してください。





トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1



* S E 5 9 0 0 *